

くらし・経済壊す「戦争法」 廃止へ日本共産党躍進を

大門みきし参院議員（比例予定候補）の訴え

寒い中、お集まりいただいた皆さん、本当にありがとうございます。参議院議員の大門みきしです。来年夏の参議院議員選挙、比例代表でお世話になります。最後まで全力を挙げます。どうぞよろしくお願い申し上げます。国会で暮らし中小企業、雇用問題、主に経済の問題に取り組んでまいりました。これからは現場の問題を皆さんと一緒に取り組んでまいりたいと思います。この面でもよろしくお願い致します。

安倍首相は参議院選挙までは、憲法改正などのきな臭い話は隠して、暮らし・経済の問題を前面に出して参議院でも3分の2以上の議席を獲得し、その後、憲法改悪に着手しよう、そんなことを狙っています。そこで出してきたのが「一億総活躍社会」、アベノミクスの「新三本の矢」ということです。

「新三本の矢」というのは、「強い経済」、「子育て支援」、「安心できる社会保障」。「おちよっているの」か、よくそんなことが言えたものです。「強い大企業」、「子育て妨害」、「絶望の社会保障」の間違いではありませんか。暮らし・経済を前面に出す。「飛んで火にいる夏の虫」であります。医療、介護、年金、生活保護—すべて連続改悪。非正規雇用を増やす、高すぎる学費、子どもまで貧困の状態に落とし込む—国民の皆さんの暮らしは破壊され続きであります。もうギリギリのところまで追い込まれております。このことを徹底的に暴露、告発して、参議院で3分の2どころか過半数割れ、少数派に追い込もうではありませんか。私はその国会論戦の先頭に立つ決意であります。

そして皆さん、安倍自公政権は社会保障の連続改悪を進めながら、消費税の10%の増税を断固やりぬく構えであります。国民をごまかす手段として出してきたのが、「軽減税率」という問題です。何も軽くなるわけではありません。今の8%でも大変重いんじゃないでしょうか。10%にしたときに、食料品だけ今の重い8%に据え置くという話でございます。今より負担が4万円も5万円も増えるんです。これがこの話の実態であります。

先日、財務省の関係者に自民党と公明党の「軽減税率」の議論について教えてもらいました。大混乱をしていたそうです。最初は食料品の中で、飲み物とお菓子をはずそうかとなった。しかしどこまでが飲み物で、どこまでがお菓子か、どう線引きしたらいいか分からなくなった。例えばお汁粉は飲み物かどうか。一気に飲めば飲み物で、お箸を使ったら食べ物。こんなばかばかしい議論を延々とやっていたんです。

そして今も混乱は続いています。おかしい話が出てまいりました。お蕎麦(そば)屋さんのお店で蕎麦を食べれば外食だから10%、出前をしてもらって家で食べれば加工品だから8%。こんなおかしい話、ありますか。これから出前ばっかり増えて町中、蕎麦屋さんの自転車だらけになるかもしれない。これにラーメン屋さんが加わったらどうするんですか。町中、自転車操業になってしまいます。こんな愚かなことを自民党、公明党が議論してきたんです。消費税増税は暮らしも経済も破壊してしまいます。そんな議論をするくらいなら、そもそも増税を中止すればいいではないですか。

皆さん、戦争法を続けさせれば消費税は社会保障どころか軍事費のために使われてしまいます。文字通り戦争税になっていくと思います。この点からも何としても戦争法を廃止しなければなりません。「国民連合政府」を実現して何としても戦争法を廃止しようではありませんか。そのためには参議院選挙で日本

共産党を大きく躍進させていただきたいと思っております。

このことを重ねてお願い申し上げます。私、参議院議員・大門みきしからの訴えとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。



12月19日、神戸三宮で
(兵庫民報提供)

参院選勝利近畿ブロックニュース

TEL06(6975)9111 FAX06(6975)9115

jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

比例予定候補・大門さん特集 2015. 12. 28